

## 動画② ナレーション

アンコンシャス・バイアスという言葉、皆さんご存じですか？

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の思い込みのことで、本人が意識しないところで、行動や意思決定に影響を与えているものです。

日々生活をしている中で、こんなことはありませんか？

- ・男の子は黒いランドセル、女の子は赤いランドセルを使うとイメージする
- ・カップルと言えば男性と女性をイメージする

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の思い込みのことで、「過去の経験」や「見聞きしたこと」に影響を受けて、“きっと、こうだ”と思い込んでいること。

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。

しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、それによる「判断」や「言動」が、ときに、相手を傷つけてしまったり、自分自身の可能性を狭めてしまったりすることがあるということを忘れてはいけません。

では、ここで問題です。

アンコンシャス・バイアスに該当しないのはどれ？

選択肢：

- ・A型の人まじめだ
- ・女の子は赤いランドセルを使うものだ
- ・霞ヶ浦は日本で2番目に大きい湖だ
- ・外国の人は日本語が話せない

正解は・・・

「霞ヶ浦は日本で2番目に大きい湖だ」

霞ヶ浦が日本で2番目に大きい湖であることは事実ですが、それ以外はアンコンシャス・バイアスといえます。

例えば、女の子が必ずしも赤いランドセルを使うとは限りません。

では、続いての問題です。

男性か女性かによって役割や行動を決めつけているのはどれ？

選択肢：

- ・男性は外で仕事をし、女性は家庭で家事や育児をするべきだ
- ・男の子はプラモデルで遊び、女の子はおままごとで遊ぶものだ
- ・会社で、女性より男性の方が管理職に向いている
- ・女性は文系の学部に進学するものだ

正解は・・・

全てです。

無意識のうちに性別によって役割や行動を決めつけてしまっていないですか？

よりよい世の中をつくっていくためには、性別や年齢、国籍、障害の有無などで役割や行動を決めつけてしまうのではなく、一人ひとりの違いに目を向け、強みを生かしていくことが重要です。

身近なところにも無意識の思い込みはあります。多様な人々が活躍できる環境をつくるためにも、アンコンシャス・バイアスがないか、周りの人も巻き込んで一緒に問い直す姿勢を持つことが大切です。

ダイバーシティ&インクルージョンの推進のために、皆さんもアンコンシャス・バイアスを意識して、できるところから行動してみませんか？